



東広会ニュース

4月号

2006年(平成18年)

Vol.22

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会
電話 03(5447)7928
E-MAIL info@tokokai.jp

<2005年度実績>

(単位:百万円)

媒体	2005年度実績	2004年度実績	前年比	増減
車内ポスター	22,380	22,350	100.1%	30
ADトレイン等	1,189	1,005	118.2%	183
車体広告	1,509	1,123	134.3%	385
トレインチャンネル	1,164	726	160.3%	438
車両メディア計	26,241	25,206	104.1%	1,036
駅ポスター	5,136	4,909	104.6%	228
SPメディア	2,776	2,552	108.7%	223
サインボード	9,069	9,099	99.7%	-30
フリーペーパーラック 店舗ラッピング	734	285	258.0%	450
駅メディア計	17,715	16,844	105.2%	871
その他(オレンジカード調査)	240	369	65.0%	-129
合計	44,196	42,419	104.2%	1,777

■車両メディア(実績26,241百万円、前年比104.1%)
今年度、車両メディアを牽引したのは「車体広告」「ADトレイン」「トレインチャンネル」。「車体広告」「ADトレイン」は、クライアアントニーズに対応し実施編成車両数を増加させ販売は好調であった。「トレインチャンネル」は、4月より山手線全編成に導入され、下期には大幅改修を行い、販売は堅調に推移した。

「J企交通媒体局」2005年度売上「まとまる」

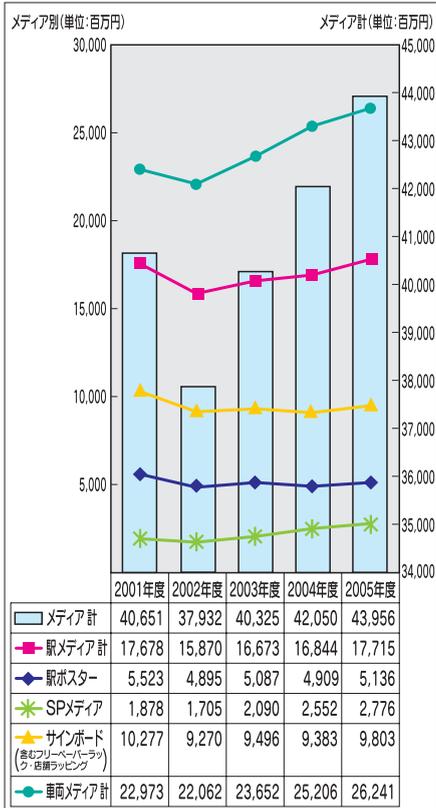
「昨年度に続き、過去最高の売上を更新」

J企交通媒体局2005年度売上実績がまとまった。積極的な新規媒体の開発やニーズに対応した駅ポスターセット販売・山手線トレインチャンネル大幅改修などにより、売上高は昨年度の過去最高をさらに上回る44,196百万円で前年比104.2%となった。車両メディアは、26,241百万円で対前年104.1%、駅メディアは、17,715百万円で前年比105.2%と、いずれも前年を上回った。

また、「ステッカー」「東海道/宇都宮・高崎/常磐線」「ドア横新B」も好調であった。「3線群中づり」「3線群まど上」はタバコ広告の出稿がなくなったことや、出版社の出稿減等により減収となった。
■駅メディア(実績17,715百万円、前年比105.2%)
「駅ポスター」は一般枠が低調であったものの、今年度より商品を見直したセット商品が好調であった。

<2001年度~2005年度 媒体別売上推移>

(単位:百万円)

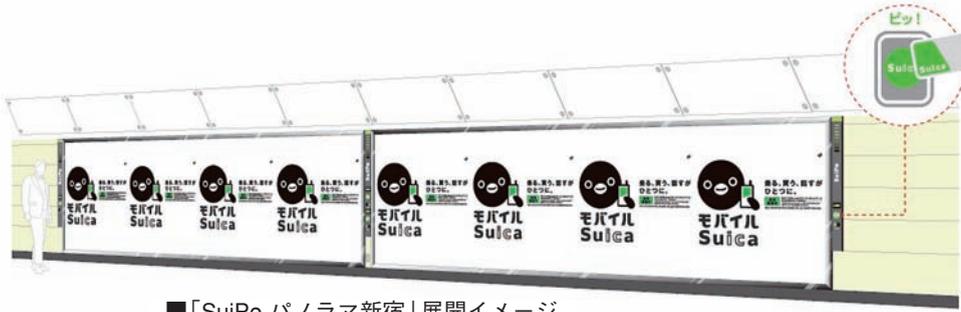


*サインボードには、「フリーペーパーラック」及び「ラッピング店舗」の売上は含む。
*メディア計には、オレンジカード売上・調査の売上は含まない。

「SPメディア」は、ゲートウェイメディア・山手線ネットワーク統合セイルスプロモーション・東京駅丸の内北口臨時広告・目白駅臨時広告展開や、渋谷駅シート広告・新宿駅アルプス広告電照シート広告等の新規媒体開発を行い販売は好調であった。「サインボード」は計画開発媒体として、田町・秋葉原・国立・小田原・北千住・高田馬場・宇都宮・大船・つくばエクスプレス等積極的に販売し、またJR貨物の媒体管理も受託したが、一方でダイナミックライト・大型サインボード(プロミスボード)等の媒体返還により減収となった。
「フリーペーパーラック・ラッピング店舗」は大幅に伸長し、キヨスク壁面ラックの開発や、ラッピング店舗では東京(2店舗)・品川(1店舗)を新たに開発した。

Suicaを使った新しい交通広告メディア「SuiPo」登場!

J企では、駅ポスター設備にSuicaリーダを設置し、Suicaの機能と駅ポスターを連動させた交通広告媒体「SuiPo(スイポ)」を開発・商品化すると発表した。



■「SuiPo パノラマ新宿」展開イメージ



■「SuiPo mini」展開イメージ

SuiPoは、広告ポスターの脇に設置されたSuicaリーダをSuicaまたはモバイルSuicaでタッチするとポスターに掲載されている商品・サービスの詳細情報やキャンペーン応募情報、クーポン等が携帯電話に送られてくるという新しい広告媒体。送られてきたメールから商品・企業のサイトに誘導することはもちろん、デジタルコンテンツ等のダウンロードを行うなどの特典も受けることができる。

SuiPoには常設タイプの「SuiPo」と移動可能な「SuiPo mini」があり、広告展開にあわせて柔軟に展開ができる。

「SuiPo mini」では前述の機能を備えたB1ポスターが掲出できる「ポスタータイプ」と、上部にモニターを備えSuicaを使用した抽選機能等も付加した「モニタータイプ」も商品化される。

第一弾として、最も乗降人員が多いターミナル駅「JR新宿駅」の北

平成18年度インセンティブ報奨概要決まる!

平成18年度の広告会社向けのインセンティブ報奨の概要が発表された。このインセンティブ報奨は、下期・下期の年2回行われているもので、「対前年度売上超過額」「重点商品販売」「売上高順位」の3つを算定基準として報奨額が決められる。それぞれの算定方法の内容は次の通り

①「対前年度売上超過額」

- ・前年実績を超えた場合に、超過額の1%を報奨します。
- ・平成17年度に売上実績がある広告会社で、報奨額20万円以上の場合を対象とします。

②「売上高順位」

- ・売上高の上位20社について、順位別に報奨額を設定します。

通路にある大型ポスターセット「パノラマ新宿」2枠に、常設タイプの「SuiPo」を8月(予定)から展開する。

広告媒体のIT化に対応し交通媒体のさらなる付加価値のひとつとして、Suicaを活用した新たな交通広告は、媒体・広告主・駅利用者間での活発なコミュニケーション・ツールとして機能するものと期待される。

③「重点商品販売」

- ・各メディアに「重点商品」を設定(メディアガイドダンス参照)し、その販売実績に応じて報奨します。
- ・設定した商品以外に、緊急販売商品や重点施策等、期中に必要と判断した商品についても別途対象とします。
- ・報奨額は、広告会社の獲得ポイント(商品ポイント×販売数)にポイント単価額を乗じて算出します。
- ・ポイント単価額は3000円とします。
- ・メディア別に下限額を5万円とし、千円単位を切り捨てとします。
- ※対象期間…上期4~9月、下期10~3月。
- ※報奨額上限…各期において1社あたり①③の合計で500万円を上限とします。



丸の内地下アドピラー



丸ビル前柱シート広告

JR東京駅丸の内地下で「フォルクスワーゲン グループジャパン(株)」が規模なSP展開を行った。内容は「丸の内地下4面シート広告」「丸の内地下通路アドピラー(10本)」「丸の内地下南口前アドピラー(31本)」「丸の内地下丸ビル前柱シート広告(23面)」で、期間は3月28日(火)～4月10日(月)。

丸の内地下のこれらの媒体はJRと地下鉄、丸ビル、東京国際フォーラムを結ぶ通路に位置することもあり注目を集めている。

東京駅丸の内地下で大規模SP展開「フォルクスワーゲングループジャパン(株)」



丸の内地下4面シート広告

山手線内25駅の改札口52箇所に、(株)NTTドコモのゲートウェイメディアが4月2日(日)～4月15日(土)(新宿駅・渋谷駅のみ4月1日(土)～4月16日(日))展開された。透明アクリルケース内にドコモダケの立体フィギュアを設置し「がんばれ新入生、がんばれ新社会人、がんばれ新生活」のメッセージと共に商品訴求を行った。

また、自動改札ステッカー(山手36駅・4月1日(土)～4月14日(金))、渋谷駅ハーフジャック(4月3日(月)～4月9日(日))など多彩な展開を行った。

ゲートウェイメディアなど多彩な展開・NTTドコモ



ゲートウェイ広告(大崎駅)



ゲートウェイ広告(渋谷駅)

品川駅北改札上に超大型サインボードが出現!

JR品川駅北改札口上に超大型サインボードが出現した。サイズは縦3メートル、横13.5メートルで内照式。クライアントはキヤノンマーケティングジャパン(株)。改札上部という駅の象徴的な場所への広告展開が実現したことも注目される。



自動改札ステッカー



渋谷ハーフジャック



品川駅北改札上部に設置された縦3.0m×横13.5mのサインボード

「交通広告グランプリ」作品募集はじまる!

今年で18回目を迎える、(株)ジェイアール東日本企画が主催する広告賞の作品募集が開始された。

今年、昨今の交通広告が多様化していることなどをふまえ、名称が「JR東日本ポスターグランプリ」から「交通広告グランプリ」に変更された。また、今回より(社)全国鉄道広告振興協会が後援することとなった。

応募対象は、2005年4月1日から2006年3月31日までに、J企交通媒体局が販売・管理を行っている駅及び車両(「JR東日本」「つくばエクスプレス」「臨海高速鉄道」「ゆりかもめ線」及び「JR貨物」)に掲出された交通広告作品となっており、ポスターのみに留まらず、企画性デ

ザイン性に富んだ交通広告作品を広く募集している。

応募資格は、上記応募対象に出稿された広告主・広告会社・制作会社・及び制作者。

部門は昨年と同様に「駅ポスター部門」「車内ポスター部門」「サインボード部門」「車体広告部門」「企画部門」の計5部門。賞の選出方法は、部門を問わず全ての応募作品の中から「グランプリ」を1点、「JR東日本賞」を1点。各部門は昨年設定の「金賞(1点)・銀賞(2点)・銅賞(3点)」の3段階から、「最優秀部門賞(1点)・優秀作品賞(5点)」の2段階に変更された。応募締め切りは2006年5月10日(水)。発表及び表彰は、2006年

7月下旬を予定しており、発表後、ADトレイン車内及び駅構内にて受賞作品の展示を予定している。

応募要項の詳細と応募用紙のダウンロードは、J企ホームページ内ニュースリリース及び東広会ホームページで公開されている。

お問い合わせ先

(株)ジェイアール東日本企画 交通媒体局
交通広告グランプリ事務局
担当:高橋・笹山 03-5447-7881

千葉支社管内Bランク作業の作業責任者の資格変更実施される。

昨年11月25日(金)に東京メディア・サービス主催の安全会議でお知らせした「JR千葉支社管内でのBランク作業における作業責任者の資格変更」が4月1日から実施された。

これまで、「作業責任者」は、J企の契約広告会社社員で所定の講習を受けて認定された「作業責任者」でよかったものが次のように改められた。

JR千葉支社管内における線路近接Bランク作業における「作業責任者」は、J企契約広告会社社員で所定の講習を受けて認定された「作業責任者」かつ「列車見張員」の資格を有する者、または「工事管理者有資格者(工事指揮者有資格者(電気)を含む)」となっている。

GWの意匠交換に係わる作業規制

多客輸送期間中等の列車運転の確保及び安定輸送を図るため、作業等調整期間が設定され、「期間中の広告に関する作業等」については、原則として工程の繰上げ、繰り下げを行い、調整期間中には作業を行わないこととなる。

ゴールデンウィーク期間

4月28日(金)22時～5月8日(月)9時

会員名簿変更

所在地変更

(株)日本スタデオ(4月3日付)

〒162-8505

東京都新宿区北山伏町1-11

牛込食糧ビル2F

東広会事務局移転のお知らせ

ヒューマックス恵比寿ビルからJR恵比寿ビル14F J企交媒局内へ移転しました。

・新住所(4/3より)

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南1-5-5

JR恵比寿ビル14F

電話 03-5447-1792 8

FAX 03-5447-1784 4

JR電話 057-5085

東京駅八重洲口で 巨人軍応援ミュージアム展開中!

JR東京駅八重洲口コンコース内にある64面の柱広告を使って「巨人軍応援ミュージアムin東京駅。」が4月1日(土)～4月30日(日)まで開催されている。

クライアントは読売新聞社。プロ野球セ・リーグ開幕に合わせ、昨年続き2回目の開催。原監督他主要選手の幼少時代の写真等も掲出され、ファンの関心を集めている。

